

1 年次セミナープロジェクト

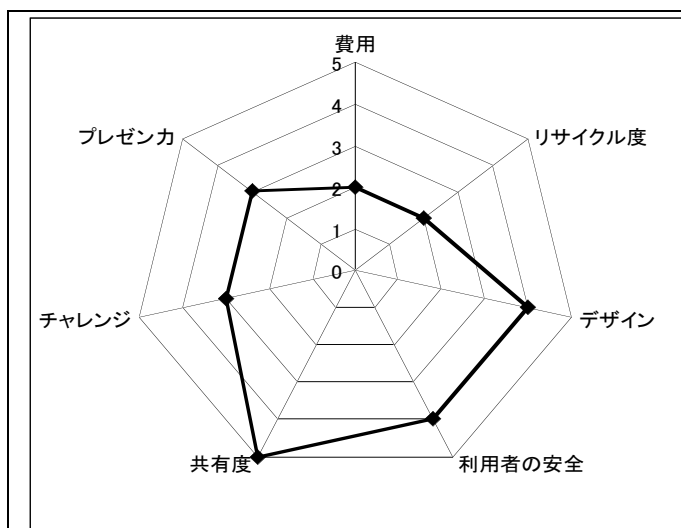
課題：幼稚園または小学校低学年を対象にした遊具／おもちゃの作成
(作品サイズは、1m×1m 以内)

プロジェクト名：人間すごろく

対象年齢： 小学校 1 年生～ 6 年生

評価規準：1-5 で評価

- 費用
- リサイクル度
- デザイン
- チャレンジ (計画と準備の緻密さ)
- 利用者の安全
- 共有度
- プレゼンカ (各クラスでのプレゼン)



スケジュール概要

日付	担当責任者 (各作業の責任者)	スケジュール
	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 各メンバーは、○日までにチーム作業に必要な行程をリーダーに提出する。 今後の連絡先などの交換。 どんなプロジェクトにしたいか、各自でブレインストーミングし、アイデアを出しまくる。
10/21	小菅、千葉	フォーマット作成、材料集め、先生に報告、フォーマット訂正
10/22	長峯、藤原	フォーマット送信
10/23	小菅	マスの内容を考える(30個)
11/4	小菅	問題作成、マス作成(四角く切断)
11/5	小菅	問題の見直し→訂正、マス作成(四方を丸く切る)
11/6	藤原	マス作成(周りをガムテープで囲む)、滑り止め作成→貼り付け
11/18	千葉	マスに問題を記入、足の踏み場についての話し合い、ルールを検討
11/19	長峰	足の踏み場作成、飾り作成、フォーマット作成
11/20	小菅	入れ物作成、仕上げ、プレゼンテーション準備
11/21	小菅	プレゼンテーション
11/26	小菅	反省会。12月のスケジュールの計画、改善点の確認、フォーマットの作成。
12/4	小菅	改善案をだしあう。(持ち運びの仕方の改善、対象年齢の再考案、マス目の改善)
12/16	藤原	試す場合のあてを探す。
12/26,27,28	長峯	メールにて、1月のスケジュール計画。
1/9	千葉	試す場合のあてを探す。
1/12、13	小菅	フォーマットの作成

1/14	小菅	作業（持ち運びに使用するものの作成）
1/15	小菅	フォーマットの最終確認
1/16	小菅	フォーマット提出（メール送信）
1/18	千葉	千葉宅にて実験
1/20	小菅	実験後の改善、作業
1/21	小菅	作業、プレゼン準備
1/22	小菅	プレゼンリハーサル

1. 費用

計画：必要な資材の予測

項目	予想金額 or リサイクル	予想調達先
ダンボール×15	リサイクル	スーパーマーケット
カッター×4	400	自宅
ガムテープ×2	200	自宅
色ペン×12	100	自宅
ひも×2	200	100円均一
フェルト	200	100円均一
画用紙	80	文房具屋
滑り止め用ゴム	300	東急百貨店
スプレー	500	東急百貨店
毛糸	120	文房具屋
もつところ×4	200	100円均一

調査：調達先別の資材比較

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
ダンボール×15	リサイクル	スーパーマーケット
カッター×4	400	自宅
ガムテープ×2	200	自宅
色ペン×12	100	自宅
ひも×2	200	100円均一
フェルト	200	100円均一
画用紙	80	文房具屋
滑り止め用ゴム	100	100円均一
スプレー	300	100円均一
毛糸	100	100円均一
もつところ×4	200	100円均一

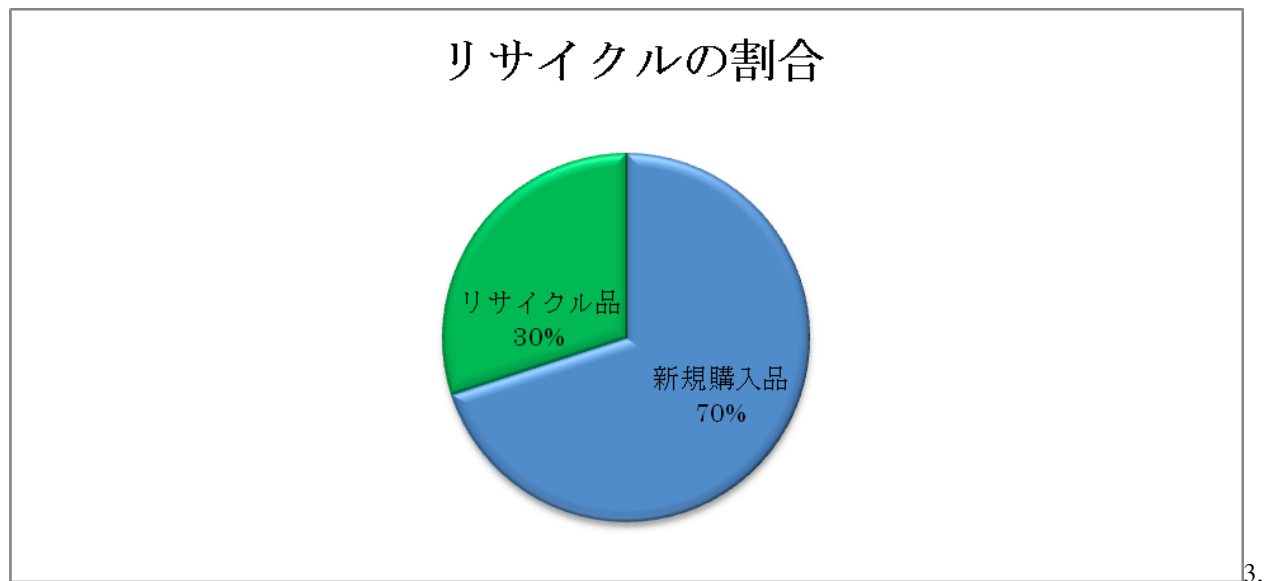
実行：最終資材

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
ダンボール×15	リサイクル	スーパーマーケット
カッター×4	200+リサイクル	自宅
ガムテープ×5	400+リサイクル	自宅
色ペン×12	リサイクル	自宅
ひも×2	200	100円均一
フェルト	200	100円均一
画用紙	80	文房具屋

滑り止め用ゴム	100	100 円均一
スプレー	300	100 円均一
毛糸	100	100 円均一
もつところ	リサイクル	電化製品を買ったとき

総費用：1580 円

2. リサイクル度（割合で表示）



デザイン

資料（文献、インターネット情報、専門家からの伝授）など、最終デザインに行き着くまでのデザインの変容と修正理由などを残しておく）

日付	変更前デザイン	改善後のデザイン
10/21	<ul style="list-style-type: none"> マス 50 サイコロ 1～6 	<ul style="list-style-type: none"> マス 20～30 サイコロ 1～3 マスが多いと持ち運びが困難になるため。サイコロの目が多いと踏まれないマスが多くなってしまったため。
11/18	<ul style="list-style-type: none"> サイコロ 1～3 	<ul style="list-style-type: none"> じゃんけん 人間がピンの役割なので、サイコロを取りに行く際、場所を移動しないで済むよう検討した。
11/20	<ul style="list-style-type: none"> マス 20～30 	<ul style="list-style-type: none"> マス 20 持ち運びやすいよう検討した。
12/4	マス 20	マス 18
1/13	全部を背負って持ち運ぶ	2つに分けて、ひとつを背負う
1/13	ルールブックを作る	ルールを持ち運びようの箱に書く
1/14	ます目の問題の変更	高学年向けに作り直す。

3. チャレンジ

改善点：

日付	改善前（どこに、どんな改善が必要か）	改善後（どう改善したか）
12/4	対象年齢	対象年齢小学校高学年
1/13	持ち運び人数	3人で
12/4	大人が必要	子供だけで大丈夫
1/13	対象人数	3人以上

チームワーク：

チームプロジェクトから学んだこと	チームプロジェクトで苦労したこと
分担することの大切さ	みんなでやることを大切にしたので、時間をあわせることに苦労した。
温度差を作らない	場所の確保
意見を出し合うことで改善していくことができる	

5. 利用者の安全

安全管理：予測可能なリスクを列挙し、そのためにどのような対策を練っているか書く。

想定できるリスク	リスク回避の方法	具体的に用意するもの（安全マニュアルなど）
すべって転ぶ	地面に着く部分にゴムをつける	滑り止め用ゴム
手を切る	ダンボールをすべてガムテープで補強する	ガムテープ
壊れやすい	地面との隙間をつくり、段ボールが地面にふれるところを減らす。	段ボール、テープ
踏みつけられる	どこがふんでよくてどこがふんでよいかをわかりやすくする。	デザインの工夫

6. 共有度

（どのような遊び展開が可能か？何人一人人までが利用できるか？どのような遊びを提案できるか？）

- ・ 対象年齢小学校高学年
- ・ 人数3～
- ・ まずはバラバラに並べることができるようにしてあるので、ますを並べ替えて遊ぶことができるので飽きない。

7. プレゼン力

報告計画：クラスでの報告、または担任への個別報告した内容と担任からの指導内容など

日時	報告担当者 (1人1回は報告)	報告内容(進行状況、課題、課題 解決の方法案、今後の予定など)	担任からのアドバイスなど
10/21	小菅、千葉	サイコロの形状、マスの数、ルール(注意事項など)、マスの内容	サイコロの目を工夫(6面体だが、目が1から3しかないものにする。またはマス目に“1つ戻る”など、簡単に終わらないようにする。)マスを置く場所をそうていした上で作成する。 完成したら遊んでみる。
1/13	長峯、藤原	クラスメイトに重さについて相談。	親がいるのか子供だけなのかでかわる。
1/14	小菅、千葉、長峯	実験の大切さ。 プレゼンの説得力	自分たちは作ったきっかけになる教育問題のデータを集める